

新型コロナウイルス感染症にかかる感染拡大防止ガイドライン

2020（令和2）年9月21日

奈良県小学生バレーボール連盟

本年5月の緊急事態宣言の全国的な解除を受け、活動が段階的に再開されたことから、十分な警戒感をもって感染症対策を講じることが必要となってきました。奈良県小学生バレーボール連盟では、スポーツ庁、日本小学生バレーボール連盟、各市町村から出されている感染拡大予防ガイドラインに従い、感染防止対策を徹底しながら、大会開催に向けて準備を進めていきたいと思っております。

1 実際の活動場面における注意事項（指導者・保護者・選手の皆様）

（1）練習を行う際の感染防止策

- ・選手同士が手をつなぐ、腕を組むなど、接触しないような練習方法を工夫する。また、練習前には、必ず検温をしてから参加し、風邪気味や体温が高いときには、練習に参加させない。
- ・施設の広さに応じた適切な人数となるよう留意すること。また、こまめに換気を必ず行うこと。
- ・汗拭き用のタオル、飲み物の水筒等は個人用として使用し、共用しない。
- ・指導者（ベンチスタッフ）は、マスクを着用し、身体的距離を守り、話は短めにする。
- ・活動中はこまめにうがいをする。練習後は、手洗い、うがいを必ず行う。また、手洗いは30秒程度、流水と石けんで丁寧に行う。
- ・練習の行き帰りは、マスクを着用する。特に指導者と保護者は、必ず着用する。
- ・活動中に選手の体調不良が把握された場合は、速やかに帰宅させるようにすること。
- ・昼食時は、選手同士の距離を空け、静かに食べること。
- ・トイレや体育館の入り口等に設置されているアルコールによる消毒液で手指消毒を行うこと。なお、健康上の理由で手指消毒液を使用できない場合は、手洗いをしっかり行うこと。

（2）大会運営時の感染防止策

- ・チーム責任者は、選手の大会前2週間の健康観察を実施し、健康観察カードを提出すること。
- ・トイレや体育館の入り口等に設置されているアルコールによる消毒液で手指消毒を行うこと。
- ・開、閉会式などの密になるプログラムは簡略化する。
- ・観客席は、使用会場のガイドラインに沿って使用する。
- ・観客席では、マスクを着用し、声援は送らず、静かに試合を観戦し、会話も控える。
※健康上の理由等でマスクが着用できない方もおられるので、互いに配慮し合う。
- ・換気を意識し、適宜外気を取り入れる。
- ・ドアノブ、スイッチなどは、午前、午後に消毒を行う。また、試合が終了するごとに使用した机椅子の消毒を行う。
- ・ベンチスタッフ、審判は、マスクを着用する。また、審判は、電子ホイッスルを使用する。
- ・試合球は適宜消毒を行う。
- ・引率は、原則的に各チーム6年生の保護者のみとする。6年生の選手1人に対して、引率保護者は1名以内とする。6年生の選手・保護者が少なく、引率が困難な場合は、他学年の保護者でもよいが、来場する保護者数が選手数を越えないようにする。